エコアクション21

環境活動レポート

第35期　2022年7月～2023年6月

第14版　発行　2023.8.31

田中土建工業株式会社

目　　次

環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

事業の規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

田中土建工業㈱エコアクション21組織図・実施体制・・・・・・・ 4

環境への負荷の状況（取りまとめ表）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

環境経営目標と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

環境活動計画(2022年度)、取組結果とその評価
及び次年度(2023年度)の取組内容・・・・・・・ 7

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果
並びに違反・訴訟の有無・・・・・・・・・ 8

代表者による全体の評価と見直し・指示・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

環 境 経 営 方 針

基本理念

当社は土木工事、産業廃棄物の収集・運搬を行う事業所として、常に環境の保全を意識し、環境経営を進めることにより資源循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

① 地球環境保護のため、省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進する。主に収集・運搬車両のエコドライブを実践しCO2 排出の低減に努める。
② 備品購入の際、グリーン購入の推奨をする。
③ 環境関連の法律の遵守をする。
④ 全社員に環境に関しての教育を行い、環境保全の意識を 向上させる。
⑤ 受託した産業廃棄物の適正な処理に努める。
⑥ 水使用量の削減及び廃棄物排出量の削減に努力する。
⑦ 環境活動レポートを社内外に公表し、社会とのコミュニケーションを大切にする。
⑧ 環境に配慮した事業の取組みに努める。

令和5年8月25日　改定
代表取締役　田中　力

事業の概要

事業所及び代表者

田中土建工業株式会社　　代表取締役　田中　力

本社所在地

静岡県焼津市藤守2128番地　（TEL054-622-1540・FAX054-622-5519）

事務所在地

静岡県焼津市藤守2241-21-3番地

法人設立年月日

昭和61年11月1日

資　本　金

2,800万円

環境管理の責任者及び担当者

環境管理責任者：田中　悠太　事務局：下村　智美

事業の内容

建設業（土木、とび・土工、管、舗装、しゅんせつ、水道施設工事業）

【許可番号】（般-2）第10948号

〈最初の許可〉昭和50年7月2日　〈有効期間〉令和7年12月9日

産業廃棄物収集運搬業

【許可番号】2201019313号

〈最初の許可〉平成元年7月31日　〈有効期間〉令和6年7月30日

一般貨物自動車運送業

【許可番号】中運自貨第1013号

〈最初の許可〉平成8年10月４日

産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

建設業の種類

土木工事業　とび・土工　管工事業　舗装工事業　しゅんせつ工事業　水道施設工事業

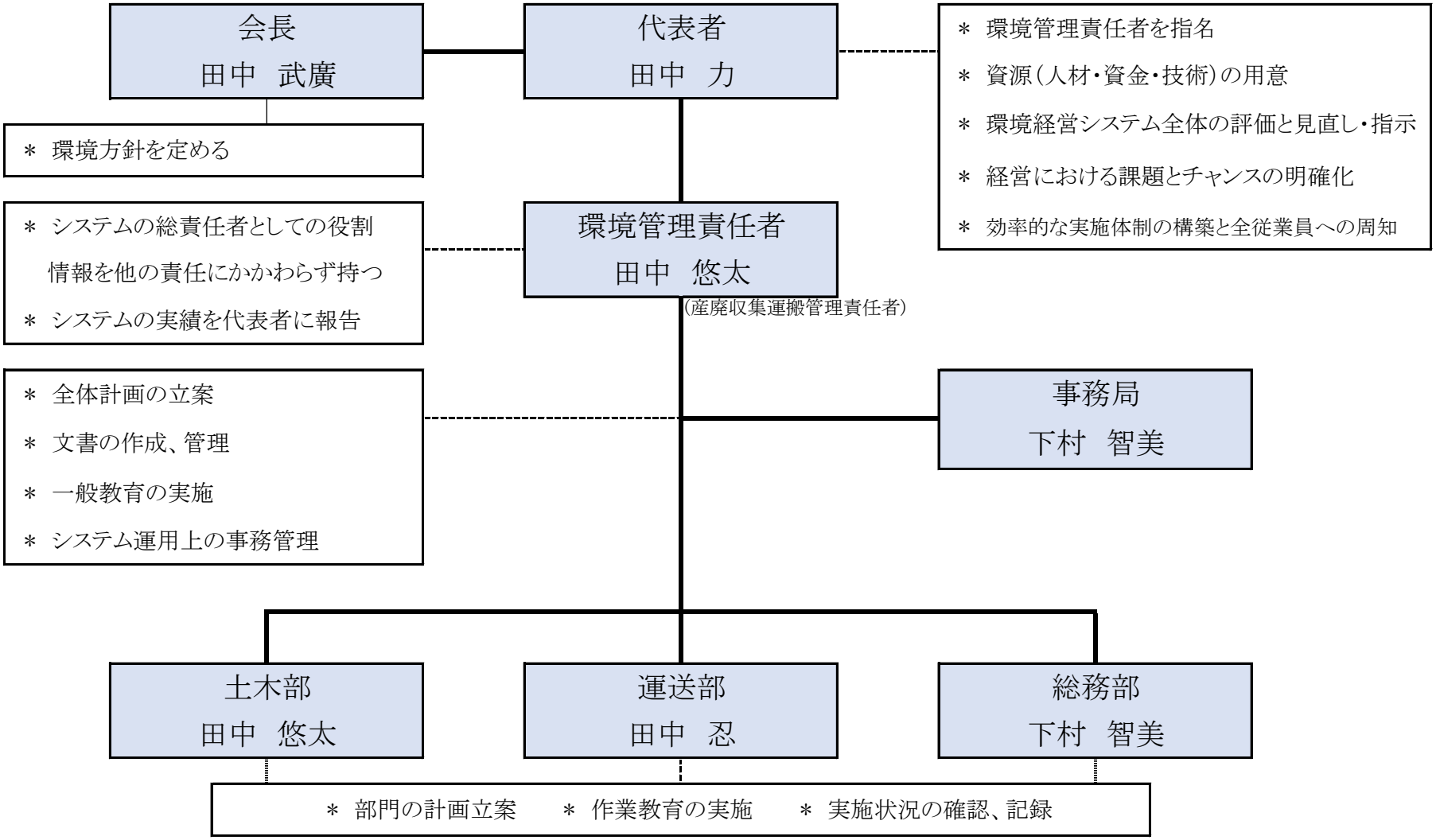
収集運搬車両

・10tダンプ	6台
・8tダンプ	1台
・4tダンプ	1台
・2tダンプ	1台

活動規模	単位	2020年	2021年	2022年
収集運搬量	t	6,675	6,359.10	5,613.42
工事件数	件	30	27	28
売上高	百万円	508	394	354
従業員	人	24	18	13
事務所床面積	m^2	101.6	101.6	101.6

田中土建工業㈱エコアクション21 組織図・実施体制

2021年3月1日～



2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）

環境への負荷			単位	2020年	2021年	2022年
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素		kg-CO_2	624,221	659,813	409,514
	（　　）		kg-CO_2			
② 受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量		t	6,676	6,359	5,613
	中間処理用		t			
	うち再資源化等量		t			
	最終処分量		t			
	中間処理後の産廃の処分量		t			
	うち再資源化等量		t			
③ 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	（再資源化）	t			
		（焼却）	t			0.04
		最終処分量	t			
	産業廃棄物	（再資源化）	t	43	59	106.1
		（焼却）	t			
		最終処分量	t			
④－1 総排水量	公共用水域		m^3	78	88	84
	下水道		m^3			
④－2 水使用量	上水		m^3	78	88	84
	工業用水		m^3			
	地下水		m^3			
⑤ 化学物質使用量			kg			
			kg			
			kg			
⑥ 資源等使用量	資源使用量		t	8.06	32	415
	循環資源使用量		t			

○①温室効果ガス排出量（二酸化炭素）、②受託した産業廃棄物の処理量、③廃棄物排出量、④－1総排水量、⑤化学物質使用量は必須項目です。
なお、総排水量の把握が困難な場合には、④－2水使用量が把握必須項目となります。
○各指標の値については次頁以降の集計結果を記入してください。

環境経営目標と実績

前年度実績を基に目標を設定する

中長期目標

項目	単位	2020年度実績	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標
CO2排出量	Kg-CO2	624,221	617,979	611,799	605,681
前年度比			-1%	-1%	-1%
購入電力	KWH	16,292	16,129	15,968	15,808
前年度比			-1%	-1%	-1%
ガソリン	L	13,650	13,514	13,378	13,245
前年度比			-1%	-1%	-1%
軽油　排出量	L	226,421	224,157	221,915	219,696
前年度比			-1%	-1%	-1%
産業廃棄物の適正処理		0	適正処理	適正処理	適正処理
水使用量	m3	78	78	78	78
前年度比			±0%	±0%	±0%
グリーン購入	件	6	6	6	6
クレーム0を維持する	件	0	0	0	0

環境経営目標と実績

項目	単位	2021年実績	2022年目標	2022年実績	チェック
CO2排出量	Kg-CO2	659,813	611,799	409,514	○
購入電力	KWH	15,302	15,968	13,385	○
ガソリン	L	9,352	13,378	6,396	○
軽油	L	244,299	221,915	150,592	○
水使用量	m3	88	78	84	×
グリーン購入	件	6	6	6	○
クレーム件数	件	0	0	0	○
売上高	百万円	394	500	354	×
CO2／百万円	Kg-CO2	1,675	1,224	1,157	○
購入電力／百万円	KWH	39	32	37.8	×
ガソリン／百万円	L	24	27	18.1	○
軽油／百万円	L	620	444	425.4	○

注1：電力のCO2排出係数は、0.449 kg-CO2/kWhを使用

注2：灯油、LPGは使用量が少ないことから、目標管理の対象外とする。

環境活動計画(2022年度)、取組結果とその評価
及び次年度(2023年度)の取組内容

具体的な活動内容	実施部門	責任者名	実施期間	実施チェック	次年度取組
①二酸化炭素排出(燃料・電気)の低減					
・A.不必要なアイドリングの禁止	運送部	田中忍	7月1日より	○	継続
B.不要な荷物を降ろす	運送部	田中忍	7月1日より	○	
C.急発進・急加速の禁止	運送部	田中忍	7月1日より	○	
D.エンジンブレーキの積極使用	運送部	田中忍	7月1日より	○	
E.エアコンの使用は控えめにする	運送部	田中忍	7月1日より	○	
F.計画的なルートの使用	運送部	田中忍	7月1日より	○	
G.作業中のエアコンは使用しない	運送部	田中忍	7月1日より	○	
H.早めのシフトアップ	運送部	田中忍	7月1日より	○	
I.タイヤの空気圧のチェック	運送部	田中忍	7月1日より	○	
J.重機の回転数を下げる	土木部	田中悠太	7月1日より	○	
上記内容の啓発看板設置	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
・事務所内のエアコンの設定温度を	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
夏28℃冬25℃に設定する(啓発シール添付)	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
・クールビズウォームビズを推奨	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
・不要な電灯の消灯を実施する(啓発シール添付)	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
・事務所および社長室のLED化	総務部	田中悠太	7月1日より	△(一部済)	
②水使用量の削減					継続
・洗車時の節水					
①洗車は地下水の利用のみとする	運送部	田中忍	7月1日より	○	
②水漏れ点検の実施	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
③廃棄物排出量の削減					継続
・コピー用紙の両面使用	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
・書類等の電子化ペーパーレスに努める	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
④リサイクル推進					継続
・紙類のリサイクル推進 両面コピーの実施	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
⑤グリーン購入の推進 (2か月に1回実施、					継続
・備品等の新規購入に於いてグリーン購入を検討	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
⑥緑化運動の推進					継続
・会社敷地内に花壇を設ける	総務部	田中悠太	7月1日より	○	
⑦教育訓練の実施					継続
・毎月一回安全教育と共にエコについても実施する	全社	田中悠太	毎月5日	○	
⑧クレーム0を維持する ・毎月一回安全教育と共に注意喚起する。	土木部	田中悠太	毎月5日	○	継続

＊グリーン購入については、年間通して季節の植物の購入を実施する。
*社員教育については月一回のミーティングの時に意識高揚のためエコアクション取り組み状況の報告を行う。

評価と対策

＊今期は全体的に売上減少に伴い、化石燃料の使用量が減少し目標を達成することが出来た。
売上減少の理由としてはコロナの影響もあり経済状況の中で公共工事が減少傾向にあったのが大きく挙げられる。
＊CO2排出量については、目標をクリアすることが出来ました。理由としては上記と同じ理由が挙げられます。
＊電力については、蛍光灯を一部LEDに変更した結果、減少することで目標は達成出来ました。
＊ガソリンに関しては車両の入れ替えにより燃料消費が減少したと考えられる。
＊水道使用量に関しては目標を達成できなかった。
＊グリーン購入は2ヶ月に一回のペースで季節の植物で行った。

環境活動の取組内容

こまめな消灯呼びかけ

LED蛍光等の使用

裏紙の活用によりペーパーレス活動

エアコン設定温度表示

洗車時の節水

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反・訴訟の有無

遵守確認:2023年 8月31日　環境管理責任者　田中　忍

適用対象	法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守確認日	チェック
廃棄物収集運搬業者 産業廃棄物排出業者	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託契約、許可証確認		23/8/31	○
		マニフェストの保管管理A,B2,D,E票、又B1,C2票		23/8/31	○
		マニフェストの期間内返却			○
		マニフェストの保管発行年月日より5年間		23/8/31	○
		収集運搬許可の更新	令和6年7月10日更新		○
		廃棄物の悪臭・飛散防止			○
建設工事に係る資材再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	① 資源の有効な利用確保を図るとともに、産業廃棄物の発生と抑制・保全に関するために再生資源及び再生物の利用を目的とする。	① 再資源利用物品の分別徹底	現場立入り調査	23/8/31	○
		② 廃棄物を種類に応じた他施設への適正な搬出	現場立入り調査	23/8/31	○
		③ 廃棄物の再利用のための中間施設及び再生施設等の把握	施設等の調査	23/8/31	○
建設業	建設業許可	許可の更新	令和7年12月9日更新	23/8/31	○
騒音規制法。(静岡県生活環境保全等に関する条例)	① 騒音の基準は、特定建設作業・自動車交通からの騒音を定めている。	① 早朝・夜間作業・日曜祝祭日の作業の自粛	適正に行われていた	23/8/31	○
振動規制法。(静岡県生活環境保全等に関する条例)	① 建設機械等による振動を定めている	① 低騒音・低振動機械の使用励行	安全書類にて確認	23/8/31	○
		② 防音マット等の使用			○
事業者全般	道路運送車両法	一般的な自主努力		23/8/31	○
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置			○
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力		23/8/31	○
	グリーン購入法	環境物品の購入			○
	自動車リサイクル法	引取業者への引渡し		23/8/31	○
	ﾊﾟｿｺﾝﾘｻｲｸﾙ法・家電ﾘｻｲｸﾙ法	廃棄時に適正に処理する			○
	消防法	地下タンク・火災の予防	3年に1回		○
	浄化槽法	浄化槽使用開始届け	現事業所移転時	23/8/31	○
		保守点検の実地	年3回		○
		第11条法定検査	年1回		○
静岡県環境基本条例	産業廃棄物の排出先の確認(委託先の実地確認と記録保管、年1回)			23/8/31	○
焼津市環境基本条例	焼津市の一般排出基準を遵守				○
総括	上記関連法規等の遵守状況のチェックの結果、法規等の逸脱・違反はありませんでした			23/8/31	○

違反、訴訟等の有無

過去3年間関係機関からの違反指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

代表者による全体評価と見直し・指示

作成　令和 5年 8月25日

1・見直し関連情報	項　目		確認	:(必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	☑	記録・文書として作成しました。
	2	環境目標及び目標達成状況	☑	売上高と水使用量で目標未達成 (仕掛り工事が複数)
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	☑	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑	記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑	周辺住民からの苦情・要望等は特に有りませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑	今年度は該当案件は有りません。 有りの場合は別紙にて報告します。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☑	特に外部動向に変化は無かった。 ”インボイス制度”対応準備中です。
	8	その他(　　)	□	

2・代表者による全体評価・見直し指示

コロナが第5類に移行し、世間一般では通常の生活に戻りつつある昨今ですが、公共・民間問わず工事数の減少・縮小が感じられます。本年の活動を通し、目標数値に対し達成出来た項目は来年以降も継続し、また、未達成の項目については前年度実績と比較した場合減少と一定の成果は出ています。次年度以降も環境面に常に意識を置き、さらなる努力を行って参ります。

令和4年8月25日
田中土建工業株式会社
代表取締役　田中　力

	見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境方針	有・(無)	
	2	環境目標	有・(無)	
	3	環境活動計画	有・(無)	
	4	環境に関する組織	有・(無)	
	5	その他のシステム要素	有・(無)	
	6	その他(外部への対応)	有・(無)	